

霞南至健中学校 2年 T.K

質問：なぜこの職業についてのですか？

先生：小さい時、自然のことでわからないことがあり知りたくて勉強をしました。  
そして大学で物理学の中で最も細かくやる素粒子物理学を専攻し、加速器で素粒子を研究しました。そして大学でやったことを使う仕事につこうと思い今の職を選びました。

質問：今やっている研究は何ですか？

先生：実験で得た結果を式にしています。電子と陽電子を光速まで加速しそれを衝突させ、そこにどのような力が働いたのか、また衝突によってできたもの

の数、種類、反応したときの勢い、向きなどから式をつくります。そしてその計算には積分使うのですが、人間では計算できない数なのでコンピュータに計算させます。そのため、そのコンピュータのプログラムもつくっています。

質問：今までで一番大変だったことは何ですか？

先生：コンピュータに計算させるためのプログラムをつくることです。プログラムは1字でも間違えると全く動きません。なのでしっかりつくらなければなりません。しかしその中でプログラムを直そうと工夫をします。これは楽しいです。そしてその工夫したことがうまくいくととてもうれしいです。

質問：今までで一番達成感を感じたのはいつですか？

先生：他の人がやらなくなってしまったとても難しい計算を自分がやりきった時です。他の人はやらなくなったけど自分だけが答えをわかっている、そう思うと達成感を感じるしワクワクもします。しかし世界は広く同じことをやっている人もいます。でも考え方が違ったりするので意見を交換しあったりしています。

質問：この職業についていて生活のリズムが崩れたりしないのですか？

先生：他人から見たら不規則ですが自分のリズムで生活しているので崩れているとは思いません。みなさんのリズムは学校のリズムであって本人のリズムではないです。この職業についていると 1 度考え始めたら止まらなくなった

りしてごはんを食べるのを忘れるほどです。でもどんどん考えが進んでいくので止めたくないしやめたらもったいないです。そういうことを考えると自分の時間が多いです。一般的に見たら不規則ですが自分自身のリズムなので生活のリズムが崩れているとは思わないです。

質問：この職業について良かったことは何ですか？

先生：世界中で友人ができることです。世界中で研究するため実験室はとても多いです。そのためあちこちで友人ができます。そして英語で話しながら交流できるし、一緒の研究の中にも違う考え方がたくさんでできます。それを知るのもとても面白いし、楽しいです。

霞南至健中学校 2年 S.M

質問 なぜ、この職業に就いたのですか？

先生 子供の頃、不思議に思うことが非常に多くて、例えば、ガラスはなぜ光を通すか。

といったことに疑問を抱き、なぜなのかを知りたくなって、いつの間にか、そういう専門の大学へ行き、いつの間にかいまの研究職に就き、今に至ります。

質問 今、働いていて、一番大変なことは何ですか？

先生 2つの粒子をぶつけてその力の働きを調べる、という仕事をしているのですが、

驚くことにその粒子は、単体では、電子顕微鏡を使っても測れないくらい小さく、大きさが分からないくらい小さな粒子なのです。

その粒子一つ一つを合わせて塊を作り、それをぶつけて、その衝撃を式にして、そこからそれを解いて、一つの数にするのですが、

それがすごい時間がかかり、とても大変です。

質問 仕事をしていて、達成感などを感じるのはどんなときですか？

先生 粒子をぶつける実験でできた式をとくのですが、はっきり言ってその式が複雑だと、私もそうですが、他の職員も解かないときがあり、それを自分で解くと、すごい嬉しくなり、そこで初めて達成感を感じます。それが、日本で初めて解いた式だったりすると、非常にうれしいのですが、それを、世界の会議なので出すと、もう解かれていたりして、少しがっかりするのですが、解き方を比べてみると、一人一人で違いそれを、また話し合うということが楽しかったりします

質問 この職業に就いて良かったことはなんですか？

先生 外国人の友達ができることです。今では約10ヶ国の友達ができました。その友達と話しているととても楽しいし、それが一番この職業について良かったことですね。

質問 このような仕事をしていると生活のリズムは崩れてきてしまうのですか？

先生 少しずつですが崩れてきてしまいます。しかしそのリズムを作ったのは、誰か分からなくて、自然にできたものだから別にそれが正しいリズムとは限らないので自分でリズムを作っていけばいいのではないのでしょうか？私は、たまに集中し過ぎてそのリズムを崩してしまったことがあります。しかし、そのリズムも必ず守らなくてはいけない、というわけでもないで別にないので、あまり言うてはいけないことですが、個人的には守らなくてもいいと思います。まとめると、リズムは自分で作っていくものだと思います。実は、一番集中できる時期は中学生の時なのです。ということは、今、集中できる癖をつけておけば、大人になってから苦勞をすることは、なくなると思います。例にゲームのことを考えてみると、「集中するとできる」「考えることが大事」「自ら中に入っていくことが大事」

今の3つのことは変えずゲームという部分を勉強に変えてみても、その3つのことは全て正しく読み取れます。  
ということは、ゲームと勉強は一緒ということに考えられます。